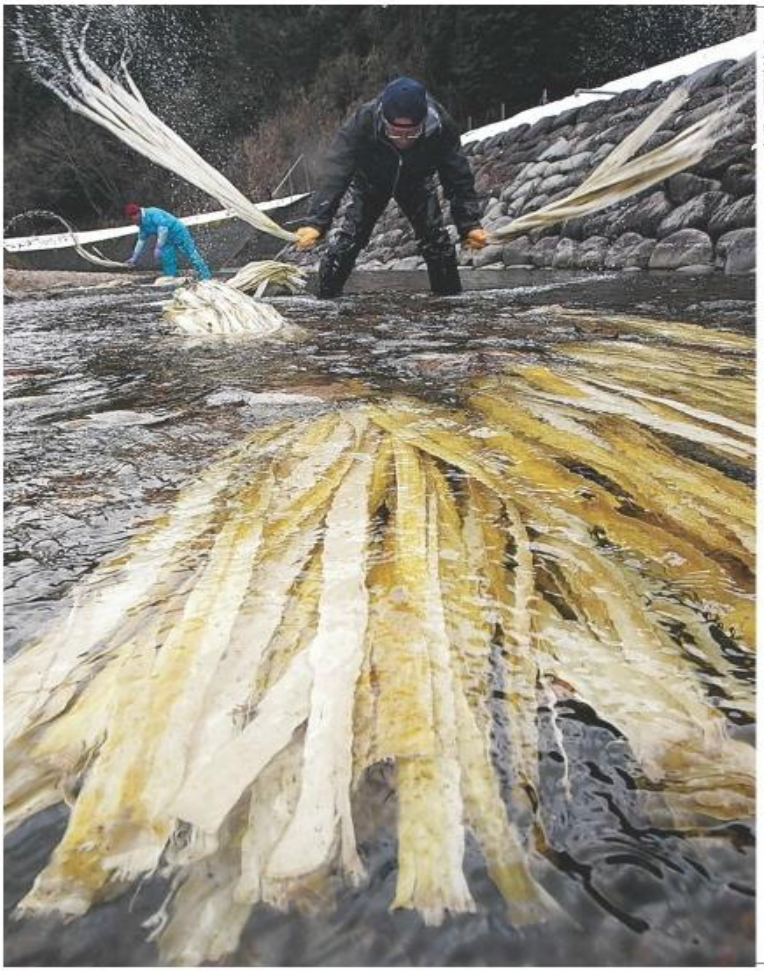
神戸新聞 2015年02月05日 木曜日 面名 ター タ4 1ページ



周囲に雪の残る杉原川に入り、コウゾを水面に打ちつける職員＝5日午前、兵庫県多可町加美区鳥羽

雪解け水で

杉原紙の川さらし

多可町加美区

奈良時代から伝わる杉原紙の産地、兵庫県多可町加美区で、原料のコウゾを漂白する川さらし作業が最盛期を迎えている。

杉原紙は県重要無形文化財。大正期にいったん途絶えた技術を1970年に復活し、町立杉原紙研究所で生産を続けている。

コウゾは町内で栽培され、冬季に収穫した後に1枚ずつ外皮をはぐ。冷たく清らかな雪解け水にさらし、白さを際立たせる。

昨年11月、ユネスコは和紙の手すき技術を無形文化遺産に登録。対象は県外だが、和紙への関心が高まり、同研究所への見学者も増えているという。職員の藤田尚志さん(43)は「杉原紙ならではの特徴をさらに検証し、技術を伝えていきたい」と話している。

（小林良多）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 杉原紙の川さらしについて、次の文の（　）内に数字や言葉を書きましょう。

（　　）時代から伝わる杉原紙の産地、兵庫県多可町加美区で、原料の（　　）を漂白する川さらし作業が最盛期を迎えている。

杉原紙は（　　）。

コウゾは、町内で栽培され、冬季に収穫した後に1枚ずつ（　　）をはぐ。冷たく清らかな（　　）水にさらし、白さを際立たせる。

② 見出しの一部をかくしています。この記事に合う見出しを考えましょう。

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学生

学びポイント

・「杉原紙」などの和紙の作り方について、NEXTの動画などで調べてみましょう！